

第2次胎内市環境基本計画 中間見直し（素案）

【基本目標1 水と緑に恵まれた自然と共生するまち ～自然環境～】

p35

資料3

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
森林病虫害被害本数	770本	300本
市民団体等による海岸美化活動	14回/年	20回/年

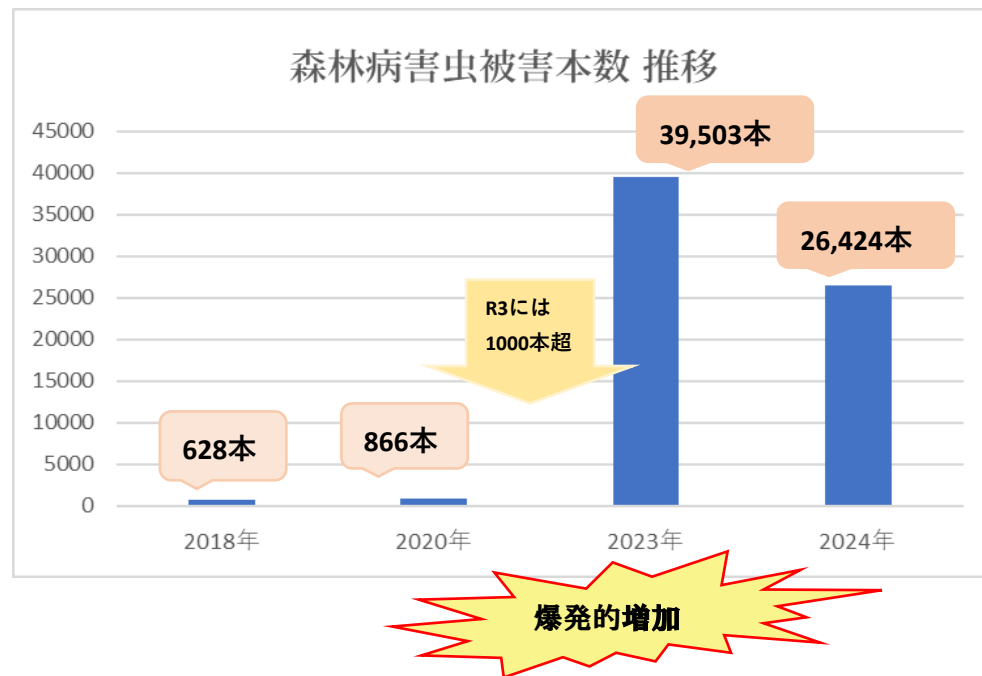
→

指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
森林病虫害被害本数	770本	26,424本	600本
市民団体等による海岸美化活動	14回/年	18回/年	20回/年

目標値変更の理由（森林病虫害被害本数）

2018(平成30)年度628本、2020(令和2)年度 866本と推移したが、2021(令和3)年度には1,000本を超え、2023(令和5)年度に39,503本と爆発的に拡大した。以上のことから、被害量の最も少ない2018年度の本数を下回る「600本」を目標として設定した。

（農林水産課より）



指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
間伐実施面積	11.1ha	30.0ha
「企業の森」設置数	8カ所	10カ所

→

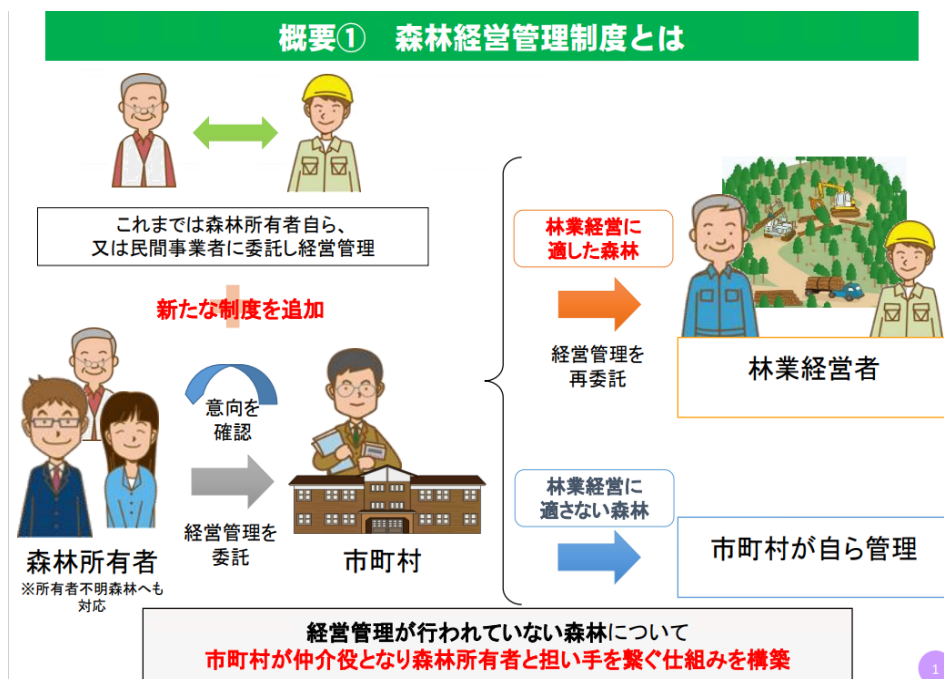
指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
間伐実施面積	11.1ha	25.9ha	40.0ha
「企業の森」設置数	8カ所	9カ所	10カ所

目標値変更の理由（間伐実施面積）

手入れの行き届いていない森林を市町村に集約し、市町村による直接管理や「意欲と能力のある林業経営体」への委託等により、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図ることを目的として森林経営管理制度（森林経営管理法）が2019(令和元)年4月1日に施行された。

市では、森林所有者へ同制度の活用を確認するため、2019年度から意向調査を実施し、今後森林管理を受託する予定のため、2024(令和6)年度実績25.88haに対し年間2.5haずつの増（特に参照データなし）と見込み、2030(令和12)年度目標を40haと設定した。

（農林水産課より）



・森林所有者の意向を確認し、林業経営に適した森林は林業経営者に管理してもらう

・林業経営に適さない森林は市町村が管理
→管理者がいない森林が減る

$$25.88(2024) + 2.5(2025増分) + \dots + 2.5(2030増分) \div 40(2030)$$

森林経営管理法（森林経営管理制度）について
～林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立に向けて～
2020年4月 林野庁

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/keieikanri/attach/pdf/sinrinkeieikanri-seido-24.pdf>

p37

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
水辺の保全活動実施団体数	2団体	2団体
堤防の草刈りや清掃活動への参加率(意識調査)	25.1% (2020年度)	30.0%

→

指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
水辺の保全活動実施団体数	2団体	1団体	2団体
堤防の草刈りや清掃活動への参加率(意識調査)	25.1% (2020年度)	—	30.0%

p38

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
広報紙やSNS※による外来種防除及び希少種の紹介件数	0件	5件

→

指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
広報紙やSNS※による外来種防除及び希少種の紹介件数	0件	2件	5件

【基本目標 2 よどみなく美しい環境を守り育てるまち ～生活環境～】

p40

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
畜産臭気基準を超過した事業場の割合	38%	0%
河川のBODの環境基準達成率	100%	100%
下水道接続率	80%	88%
地下水水質の環境基準値超過地点数	3カ所	0カ所
騒音・振動の環境基準値超過地点数	0件/年	0件/年

→

指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
畜産臭気基準を超過した事業場の割合	38%	33.4%	0%
河川のBODの環境基準達成率	100%	73.3%	100%
下水道接続率	80%	83.1%	88%
地下水水質の環境基準値超過地点数	3カ所	2カ所	0カ所
騒音・振動の環境基準値超過地点数	0件/年	0件/年	0件/年

p42

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
不法投棄の発生件数	14件/年	0件/年
老朽危険空き家の戸数	51戸	減少させる
地域の清掃活動への参加割合 (意識調査)	41% (2020年度)	50%

→

指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
不法投棄の発生件数	14件/年	18件/年	0件/年
老朽危険空き家の戸数	51戸	39戸	減少させる
地域の清掃活動への参加割合 (意識調査)	41% (2020年度)	—	50%

p44

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
一日一人当たりごみ総排出量	1,075g/人・日	1,043g/人・日
一日一人当たりごみ排出量 (家庭系ごみ)	664g/人・日	630g/人・日
リサイクル率(家庭系ごみ)	16.4%	25.0%

→

指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
一日一人当たりごみ総排出量	1,075g/人・日	1,069g/人・日	1,043g/人・日
一日一人当たりごみ排出量 (家庭系ごみ)	664g/人・日	682g/人・日	630g/人・日
リサイクル率(家庭系ごみ)	16.4%	13.9%	25.0%

【基本目標 3 快適で安全・安心な生活が送れるまち ～社会環境～】

p46

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
遊休農地面積(農振農用地)	23.4ha	20.0ha
有害鳥獣による被害額	198万円/年	150万円/年

→

指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
遊休農地面積(農振農用地)	23.4ha	15.7ha	20.0ha
有害鳥獣による被害額	198万円/年	268万円/年	134万円/年

目標値変更の理由（有害鳥獣による被害額）

「胎内市鳥獣被害防止計画」の2025年度目標値（134万円/年）に合わせたため。

（農林水産課より）

p47

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
市民一人当たりの公園面積	10.6㎡	12.0㎡

→

指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
市民一人当たりの公園面積	10.6㎡	10.91㎡	12.0㎡

p48

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
国県市指定文化財(累計)	101件	112件

→

指標	2019年度	2025年度	目標値 (2030年度)
国県市指定文化財(累計)	101件	114件	119件

目標値変更の理由（国県市指定文化財（累計））

現時点で当初の目標値を達成しており、今後増える見込みがあるため。

2025年現在の件数が114件なので、2030年まで1年に1件（5年で5件）の追加登録を目指し119件とした。

（もともと2019年度101件に対し2030年度目標112件と、1年に1件（11年で11件）の追加登録を目指したものとなっている。）

（生涯学習課より）

【基本目標 4 地球環境を考え、その保全を考え貢献するまち ～地球環境～】

p50

指標	基準値 (2013年度)	目標値 (2030年度)
温室効果ガス年間総排出量(市内全域)	376,701 t-CO ₂	278,758 t-CO ₂ ※1
温室効果ガス年間総排出量(市の事務事業)	胎内市地球温暖化防止実行計画により目標を設定します。	

※1 2030年度に2013年度比26.0%削減

→

指標	2013年度	2022年度	目標値 (2030年度)
温室効果ガス年間総排出量(市内全域)	376,701 t-CO ₂	275,000 t-CO ₂	278,758 t-CO ₂ ※1
温室効果ガス年間総排出量(市の事務事業)	胎内市地球温暖化防止実行計画により目標を設定します。		

p51

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
廃棄物の海洋投棄防止活動に賛同する人の割合(市民意識調査)	90.3%	増加させる

→

指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
廃棄物の海洋投棄防止活動に賛同する人の割合(市民意識調査)	90.3%	—	増加させる

p51

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
SDGsの認知度(市民意識調査)	18.9%	増加させる

→

指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
SDGsの認知度(市民意識調査)	18.9%	—	増加させる

【基本目標 5 市民・事業者・市が協力し、環境保全を継承する まち ～参加行動～】

p53

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
市とNPO等との協働事業数(年間)	50件	60件
事業者の地域の環境保全活動への参加割合(意識調査)	11% (2020年度)	25%

→

指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
市とNPO等との協働事業数(年間)	50件	26件	60件
事業者の地域の環境保全活動への参加割合(意識調査)	11% (2020年度)	—	25%

p54

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
学校での環境に関する出前講座の実施回数	2回 (2020年度)	増加させる
環境に関する講演会や講座の開催数	1回/年	5回/年

→

指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
学校での環境に関する出前講座の実施回数	2回 (2020年度)	2回	増加させる
環境に関する講演会や講座の開催数	1回/年	0回/年	5回/年

p55

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2030年度)
市が発信する環境全般に関する情報を収集する人の割合(市民意識調査)	80.2%	85.0%

→

指標	2019年度	2024年度	目標値 (2030年度)
市が発信する環境全般に関する情報を収集する人の割合(市民意識調査)	80.2%	—	85.0%